

入試（実技型音楽）についての Q&A

令和三年度入試より、新たに実技課題において管弦打楽器での受験が可能となりました。問い合わせが想定される質問に対して Q & A を用意しました。不明な点は、事前に問い合わせをしてください。

Q.なぜ管弦打楽器で受験できるようになったのでしょうか。

A.学校教育の現場では、ピアノや声楽・合唱以外にも、様々な楽器が演奏できる教員へのニーズがあります。幅広い音楽経験を持つ方にも将来教員を目指して欲しいと考え、今回受験可能な楽器を増やしました。

Q.福井大学では、入学後、管弦打楽器のレッスンが受けられますか？

A.カリキュラムのなかには、管弦打楽器の個別レッスンはありませんが、管楽器や弦楽器の非常勤講師の先生が指導される合奏の授業があります。またその他にも、教員の企画する公開講座や学生企画のコンサート等、得意な楽器を活かす機会もあります。

本学部は将来教員を目指す学生さんの育成を目的としていますので、入学後は広い意味で音楽教育に関わる技術や知識を習得することを目指しています。3年次より音楽教育、ピアノ、声楽、音楽学、作曲から一つゼミナールを選択し学びを深めていきます。

Q.大型楽器なのですが、受験可能でしょうか。

A.受験に際しては、基本的に受験生が自ら持参し、組み立て設置して下さい。ただし、事前に許可を得た場合に限り特別に補助運搬者の付き添いが許可される場合があります。詳しくは問い合わせをしてください。